

テレビや舞台、雑誌で活躍する女性タレントが 日本語検定に挑戦

11月に行われた平成24年度第2回検定で、タレント事務所の株式会社マグニファイに所属する女性タレントが団体受検を行いました。テレビや舞台、雑誌など芸能界で活躍する皆さんから、受検の感想、日本語について思っていること、今後の抱負などをお聞きしました。



小原春香さん

もともと国語が苦手なので過去問題をかなり勉強しましたが、本番の3級の問題は過去問題より難しかったです。今年の2回目は今までより難しいのではないですか？勉強を続けるうちに二重敬語に気をつけるようになりました。

日本人なので日本語は話せるのは当然だと思っていましたが、今回日本語検定の受検のため勉強してみるとそうではないことが分かりました。

どういう日本語を使うかでその人間が分かってしまうと思います。今回は日本語を日頃から意識するいいきっかけになりました。日本語は謙譲語、尊敬語など話す相手を意識した言葉だと思っています。勉強を止めると元に戻ってしまうので、これからも勉強して綺麗な日本語を完全に身に付けたいと思います。

受検の前に特別授業を日本語検定委員会で受けたので参考になりましたが本番の方が難しかったです。(モデル以外に)DJもやっていますが、敬語はそんなに使うことはありません。でも失礼にならないように丁寧な言葉を使うようにしています。

今回は3級と4級を受けましたが、次回は2級に挑戦したいです。



MASAMIさん



谷岡恵理子さん

敬語と四字熟語が特に難しかったです。2級は難しくて分かる問題と分からない問題がはっきりしていました。3級はケアレスミスやひっかけの問題に乗らないように注意しました。今回勉強を続けてきたのでメールを打つときなどに文章に敏感になりましたね。アナウンサーをしていた時は特に敬語や失礼な言葉を使わないように気をつけていました。日本語は表現する言葉が多彩で他の国に無い表現がある。難しい言語だと思います。今回は2級と3級を受検しました。引き続き勉強して1級に挑戦したいです。



青木まりなさん

何とか回答欄を全部埋めましたが、思ったより難しかったです。

まだ大学生でキャンパスではほとんど敬語を使いませんが、今回勉強して敬語を使うのが怖くなりました。日本語はとても便利な言葉だと思います。また表現する言葉も多いですね。私はこれからも芸能界で仕事をしていますが、就職活動をする友人には日本語検定で勉強したことを伝えてあげたいと思います。2級獲得を目指します。

本番の問題は事前に勉強した過去問題より難しかったです。特に類義語と対義語が難しかったですね。仕事先では先輩と話すときに失礼にならないようにと気持ちが優先して二重、三重の敬語を使ってしまうことがよくあります。姉と同じ番組に出演する時も身内の姉と話す際にどう敬語を使っているのか分からなくなることがあります。これからも日本語検定で日本語を勉強して友達の言葉の誤りなんかを教えてあげたいと思います。



神庭亜夢さん



神庭美帆さん

過去問題を勉強していると出題の傾向や時間配分が分かるようになりましたが、やはり問題の内容そのものは違うので難しかったですね。日本語検定で今回勉強して今まで無意識に間違っていた言葉を話していたのではないかと思うようになり怖くて気軽にしゃべれなくなっていました。日本語は聞いていてとても柔らかいきめ細かい言葉だと思います。今まで日本語というものを意識していなくて、英語や韓国語など外国語を勉強してきました。

勉強してきました。

これからは正しい日本語を身に付けられるよう勉強していきたいと思います。

※神庭美帆さんと神庭亜夢さんは姉妹（美帆さんが姉、亜夢さんが妹）です。



株式会社マグニファイ
<http://www.magnify.co.jp/>